



I 会の目的と総会について

本会は、奉仕の精神に基づき、鳥取県立倉吉養護学校の理解と振興を図り、広く障がいのある児童生徒の福祉の増進に努めることを目的として設立しました。毎年6月ごろ総会を開催し事業や予算を決定しています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、7月中旬に書面審議としました。

II 主な事業の紹介

I 行事を通じての交流推進

例年5月に開催され、たくさんの生徒が楽しみにして参加していた「鳥取県障がい者スポーツ大会」は、今年度は、新型コロナウイルス感染症のために残念ながら中止となりました。今後、感染状況が終息し開催され、再び、生徒たちの活躍した様子を報告できることを願っています。

- ① 「倉養大運動会」は、新型コロナウイルスへの感染予防対策を行って、安全・安心な状況で行うことができるかについて話し合いましたが、三密（密接、密集、密閉）すべてに対しての感染予防対策が難しいと判断し、大変残念ながら、今年度は中止とさせていただきました。
- ② 令和2年10月10日(土)に「いま ともに もりあげよう！げんきいっぱい えがおいっぱい くらよう祭」のテーマのもとに「くらよう祭」を開催しました。今年度は、新型コロナウイルスへの感染予防対策として、来場者を保護者の皆様のみ制限し、内容も子どもたちが、日頃学んだことの発表と高等部による作業製品販売のみと大幅に変更して開催いたしました。例年のようなお祭りの雰囲気は感じられませんでした。普段の学習の成果をしっかりと保護者の皆様に見ていただくことができました。また、高等部の作業製品販売も新型コロナウイルスへの予防対策を行って、たくさんのお客様にご購入いただきました。





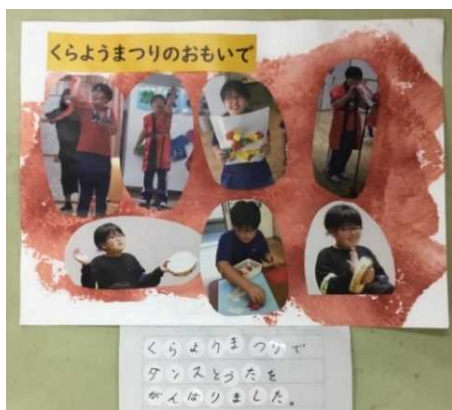
- ③ 例年パープルタウンで行っていましたが、今年度は感染症等の対策のため場所と販売方法を変えて行いました。より地域の方々とのかかわりを広げるために、2月上旬に小鴨公民館で製品展示・予約を行い、2月22日（月）に本校体育館でドライブスルー方式により製品の引換え販売を行いました。予想を上回る60人以上の多くのお客様にお越しいただき、生徒もはりきって対応しました。倉吉養護学校のことや生徒の学習などについて関心を持っていただく良い機会となりました。



2 交流学习の推進及び体験学習・体験入学

本年度は、新型コロナウイルス感染症の予防のため、残念ながら学校間交流は中止となりましたが、居住地校交流は、小学部8名、中学部7名の児童生徒が行いました。直接、居住地校を訪れて交流した児童生徒もありましたが、作品交流ということで、授業で作成した作品やビデオレターを相手校に送って交流する児童生徒もありました。今年度は、交流の新しい形が生まれ、やり方や活動内容が広がっていくように感じた年となりました。（下の2枚は、相手校に送った作品の写真です。）

また、外部の学校から本校への体験学習は小学部14名（17回）、中学部13名（15回）、体験入学は高等部10名（10回）が行いました。



3 「倉養ばやし」の育成

本校の伝統芸能「倉養ばやし」に、中学部音楽の授業で取り組みました。

曲のリズムをしっかりと覚え、音の出し方や演奏時の姿勢を学び、和太鼓や鳴子、当り鉦の音が一体となるよう、繰り返し練習をしました。

学習単元の終わりには、息を合わせた演奏をし、友だちと協力して一つのことをやりとげる良い機会にもなりました。



4 部活動の支援

卓球部、バドミントン部、ダンス部、の3つの部活動を設定し年間31回の活動を行いました。

今年度は新型コロナウイルス感染症の予防のため、外部の大会やイベントに参加することができませんでした。ダンス部の発表もできませんでした。昨年同様にダンス講師の三船先生を迎え三朝小唄など新しいダンスにいくつも挑戦することができました。卓球部、バドミントン部も部活期間中、生徒それぞれが運動を楽しむ姿が見られました。



例年、児童生徒が楽しみにしていた「SUN-IN未来ウォーク」は新型コロナウイルス感染症のために開催されませんでしたので参加できませんでした。また、恒例の同窓会や皆成学園交流文化祭「はーとふるプラザ」、中部あいサポートフェスタ等も中止されたため、ダンス部のダンス披露の場が残念ながらありませんでした。今後、一日も早く新型コロナウイルス感染症が終息し、楽しい経験や活躍できることを願っています

5 進路保障の充実

- ① 中学部・高等部の生徒は、毎年産業現場等における実習に取り組んでいますが、今年度はコロナ禍の中、なかなか外部での実習を計画することが難しく、校内で福祉サービス事業所の生活を想定した時程での取組を実施して、卒業後の生活を意識した取り組みを行いました。進路に係る行事等も中止せざるを得ない中で、冊子を作成して保護者に事業所の案内をしたり、チラシを作成して事業所に実習のお知らせをしたりして、啓発に努めました。
- ② 主に高等部の生徒を中心として、個々の進路状況に合わせて新型コロナウイルス感染症の予防対策を取りながら外部事業所での実習も計画し、実施しました。例年に比べて、事業所の作業内容も変更がある場合が多かったですが、生徒たちは精一杯働くことに取り組み、貴重な経験となりました。



6 その他

本校のキャラクターくらまめ君をご存じのことと思います。運動会やくらよう祭等の行事等ではいつも登場し、盛り立て役として大活躍し親しまれています。この度、くらまめ君の着ぐるみを教育振興会費を活用させていただき作りました。これまでの着ぐるみは、何年か前に教職員が作ったもので、それはそれでとても愛嬌がありましたが、古くなっていましたので作成したしだいです。児童生徒会が名前を募集し、「くらバラちゃん」と決まりました。卒業生には、3月10日の卒業式前日に披露し、くらバラちゃんからエールをもらいました。これからも大活躍してくれることでしょう。在校生には、後日、披露する予定です。



7 会員募集 本年度の会員数は延べ193名で、会費合計は219,577円でした。

ご協力ありがとうございました。